

Timed + Repeated Reading

(グループディスカッションの事前事後活動として)

□所要時間	2週にわけてそれぞれ30～60分
□主なスキル	リーディング
□形式	教室で一斉に行う
□概要とねらい	
同じ英文を何度も読む repeated reading と、読む速さを意識して英文を読む timed reading を組み合わせた活動です。これをディスカッションの事前事後活動として行います。本HPで紹介しているグループディスカッション活動（Shared Reading や World Café）では、ディスカッションに備えて題材となっているテキストを予読しておく必要があります。簡単な絵本ならその場ですぐに読めるかもしれませんが、少し長い本やリトールド版ではないテキストを題材に選んだ場合、予習しておきなさいとだけ伝えても、学生はなかなか予習してこないものです。そこで、ディスカッションの前の週に、ディスカッションで使用するテキストを教室で一斉に読んで読み終わるまでの時間を測る活動を導入します。予習してあれば速く読めるし、そのときに初見だった場合は読み終わるのに時間がかかるので、予習してきた学生には自信を、予習していなかった学生には焦りと予習への動機づけを与えることができます。教室で一斉に強制的に読ませるわけですから、これが予読にもなるわけです。速く読み終わった学生には、ディスカッションのためのワークシートを配布し記入を開始させます。 次の週にグループディスカッションを行うと、テキストに対する理解が必ず深まりますから、それを実感してもらうために、ディスカッションの次の週に再度、教室で一斉にテキストを読ませ時間を測ります。予読を含め、学生はすでに何度もテキストを読んでいるので、この事後活動としての timed reading の際は、ディスカッション前よりも読む速さが上がり、テキストに対する理解も深まります。予読の際には気づかなかった重要な描写や作品のテーマなどに気づく確率も高まります。これが repeated reading の効果でしょう。 ディスカッション後の reading time は、ディスカッション前より確実に短くなりますので（下記の「学生の反応」を参照）、同じ英文を繰り返し読むと英文を速く読めるようになることを実感できます。当たり前と言えば当たり前なのですが、やってみると学生はその効果に感動するようです。 実施する際の注意点としては、reading time によって成績を付けないことでしょう。これをする cheating につながります。読めてもいないのに速く読んだことにしても全く意味がありません。クラスメートと比較することにも意味がないので、あくまで事前事後で自分の reading time がどのくらい変わったか、テキストの理解度がどのくらい変わったかについて、振り返りを書かせる程度にとどめておくのがよいでしょう。	

□事前準備（必要な教材、器具など）

【教材について】

グループディスカッションで使用するのに適した新聞記事や論説文、短編小説を用意します。受講者の英語力で 30 分程度で読み終わる長さ、難易度の教材を選ぶとよいでしょう。Graded readers を使うこともできますが、クラス全員が同じ本を読む必要があるの
で、人数分の書籍を揃えられれば使用可能です。

【事前準備について】

教材のコピーを各学生に配布し、下読みをしておくよう指示します（単語の意味を調べて書き込みをしたりしても構いません）。教室では、各自がコピーを持っていることが必要です。教員はストップウォッチを用意します。可能であれば、教材提示装置でストップウォッチを写し、読み終わったときに、各学生が自分の reading time をすぐ記録できるようにします。それが難しい場合、学生にスマートフォンのストップウォッチ機能を使って各自 reading time を計測させてもよいでしょう。

□手順

1. グループディスカッションの 2 週間前、教材を各学生に配布。自宅で予習しておくよう指示。単語の意味などを書き込んでも構わない。次週教材を必ず持って来るよう指示。
2. グループディスカッションの 1 週間前、授業内で一斉に教材を読む（timed reading 1 回目）。教材提示装置でストップウォッチを提示。読み終わったら各自 reading time を記録するよう指示。必要なら読みながら辞書を引いても構わないが、当然読み終わる時間は遅くなる。
3. 読み終わった学生には静かに挙手させ、ディスカッションのためのワークシートを渡し記入を開始するよう指示。（これをやると、まだ読み終わっていない他の学生に適度なプレッシャーがかかり効果的。）
4. 最大 60 分まで待つ（この時間は学生の学力や教材の難易度によって変更可能）。60 分でも読み終わらなかった学生には、reading time を 60 分以上と記入させる。ワークシートは自宅でやってくるよう指示。
5. グループディスカッションの週には、ディスカッションを行う。次週もテキストを必ず持参するよう指示。
6. ディスカッションの次の週、どれだけテキストの理解が深まったか試してみようと言って、timed reading 2 回目を開始。2.と同じ要領で reading time を記録させる。
7. 速く読み終わった学生は自習。多読授業なら、各自読書を開始させる。
8. 1 回目と読み方がどう違ったか振り返りを記録させる。

【学生の反応】

ワールドカフェの前後に行った事例から学生の反応を紹介します（ワールドカフェについては、本 HP の「ワールドカフェ」参照）。英語力の高い学生が対象だったので、サリンジャーの“A Perfect Day for Bananafish”という難易度高めの短編小説を使いました。

矢印の前がディスカッション前に timed reading を実施した際のコメント、矢印の後がディスカッション後に timed reading を実施した際のコメント。カッコ内の数字は、事前の reading time→事後の reading time。ディスカッション前後で、time が短縮されていること、また作品への読みが深まっていることに注目してください。これが学生の自己効力感向上につながっています。

- 60 分以内に読み切ることができてよかったが、最後のシーン以外あまり内容が頭に入ってこなかった。→もう一度読むことで、今まで気づかなかった部分を見つけることができた。(60:00→34:45)
- 最初で少し詰まってしまって時間がかかってしまった。周りを意識して少し焦ってしまった。→当たり前だが、前回よりタイムが速くなっていて、楽しく読むことができた。(56:45→42:32)
- とにかく集中を保つことが大変でした。→最初に辞書を使って読んだ時よりもかなりすらすら読みました。(54:30→39:45)
- 読み終えることはできたけれど、内容理解ができていない部分もあった。→二度目はスムーズにかつ楽しみながら読めた。前回のグループディスカッションの際に疑問に思っていたことが理解できた。(60:00→42:00)
- 思ったよりも時間がかかってしまった。→前回よりも、丁寧に、深く、より理解しながら読めました。(58:44→45:00)
- あらかじめ読んできましたが、やはり何度読んでも難しくてわかりにくかったです。→前回よりもとても読みやすく、情景が想像しやすかった。(37:15→27:46)
- 主人公がこの世界で生きること疑問を感じているなかで、少女とバナナフィッシュについて話し、少女と理解し合いながらも、とき既に遅し、主人公は絶望して自殺しました、という話なのかな…。若干の気持ち悪さと無念とが入り交じった 40 分になった。→2 週間前にほぼ初見でとても時間がかかったが、ディスカッションを通して理解を深めたあとの今日は、10 分近く速く読めていた。理解を深めてから読み直すのは大事なことだと感じた。(38:32→29:28)

【応用・解説】

➤ 授業活用例

中～上級者向け英語多読授業にて、「ワールドカフェ」でサリンジャーの“A Perfect Day for Bananafish”を扱った際、事前事後活動として行いました。方法は上記の通りです。

➤ このアクティビティに適した図書の紹介

筆者のお勧めは、アーネスト・ヘミングウェイの短編小説です。短いこと、語彙が難しいこと、にもかかわらず、一度読んだだけではよく分からないこと＝事後読みのときに自分の変化に気づきやすいことなどが理由です。例として“Cat in the Rain,” “A Clean Well-Lighted Place”があります。あるいは、J. D. サリンジャーやレイモンド・カーヴァーの短編小説も、同様の理由でお勧めです。これまでの使用例として“A Perfect Day for Bananafish,” “A Small, Good Thing”など。とはいえ、これらの小説は決して簡単ではありませんので、英語中～上級者向けでしょう。

Graded readers でも、ディスカッションに適した本ならなんでも使用可能です。例えば、複数の出版社が retold 版を出しているルイザ・メイ・オルコットの *Little Women* を使い、まず各自通読して読み終わる時間を測り、次に 4 人姉妹の誰に最も共感するか、女性の役割に対する見方が現在とどう違っているかなどをグループディスカッションしたのちに、再度通読して時間を測ります。Reading time が短縮され、ディスカッション前には気づかなかったことを意識しながら読めるようになっていれば、大成功です。

(文責：深谷素子)